



かわいい後ろ姿で「いちご市」PR — 原付バイクご当地ナンバープレート交付会 —

10月1日、原付バイクの「ご当地ナンバープレート」の交付初日に合わせ、市役所で交付会が行われました。「いちご」と「ベリーちゃん」をモチーフとしたデザインとなっており、交付第1号となる各色の標識番号「・1」は希望者を対象に抽選を実施。22人が参加し、各色の当選者3人には福田副市長からプレートが手渡されました。交付後早速、バイクに取り付ける人も見られ、今後市内外での「いちご市」PRにつながる事が期待されます。

メイドイン鹿沼の甘酸っぱい味わい — いちごワイン完成披露会 — (宇賀神緑販売)

9月3日、かぬま里山わいんのワイナリーで、鹿沼農林商工連携・6次産業化推進協議会との連携により製造した「いちごワイン」の完成披露会が行われました。

このワインは、鹿沼産の「とちひめ」と「とちおとめ」を使用しており、鮮やかな朱色と華やかな香りが特徴。パッケージは女性向けを意識したというかわいらしいいちごのデザインとなっています。

製造元である宇賀神緑販売の宇賀神喜一^{きいち}会長は、「いちご市のPRにつながれば」と自信作への期待を語りました。



「商工」を「楽」しむ！ — 栗野商工業楽校^{がっこう} — (栗野商工会)

9月8日、旧栗野中学校で「栗野商工業楽校」が開催されました。

このイベントは、軽トラックの荷台で飲食物等の販売を行う、恒例の「軽トラ市」をパワーアップさせ、地域と栗野地区の商工業者との交流事業として開催したもの。旧栗野中学校の校庭に、飲食物の店舗や子どもたちが遊べる体験コーナーなどが並んだほか、校舎内では商工業者のPR展示も行われ、来場者たちは興味深そうに製品等を眺めていました。





2020東京オリンピック・パラ リンピックに一足早く出発 — 選手村建設用県認証材出発式 —

9月10日、「選手村ビレッジプラザ」の建設に使用される森林認証材の出発式が、テクノウッドワークス本社工場(さつき町)で行われました。

これらの認証材は大会終了後に本市に返還され、歴史的な大舞台で使用されたオリンピックレガシーとして多くの皆さんに親しんでいただけるよう、新庁舎の建設整備などに活用する予定です。

涙の分だけ大きく育て

— 生子神社の泣き相撲 —

(生子神社氏子)

9月22日、生子神社で「生子神社の泣き相撲」が開催されました。

「泣き相撲」は、「泣く子は育つ」という言葉になぞらえ、子どもの健やかな成長を祈願して行われる伝統行事です。力士姿の氏子に抱えられ、掛け声とともに高く持ち上げられると、泣き顔を見せる子もいれば、平然としている子もいるなど、反応はさまざま。親たちは、我が子の愛らしい表情を笑顔で見守っていました。



初開催！バンドの祭典

— バンドフェスティバル —

(鹿沼市民文化祭実行委員会)

9月28日、市民文化センターで、バンドフェスティバルが開催されました。

本イベントは、昨年オープンした「いちごミュージックスタジオ」の利用者からの練習成果を発表したいという声に応え、市民文化祭開幕式のアトラクションとして初めて開催されたもの。

年齢層の幅広い8組のバンドが登場し、往年のロックナンバーやオリジナル曲などを披露すると、会場内は大きな歓声に包まれました。

